

第 15 回 J-TEC倫理委員会（持回り審議）議事録

日時：2011 年（平成 23 年）8 月 31 日（水）～9 月 28 日（木）

1. 審議参加者（敬称略）

委員長	外部委員	井形 昭弘	名古屋学芸大学 学長
委員	外部委員	石川 直久	愛知医科大学 学長
	外部委員	中尾 昭公	名古屋セントラル病院 院長
	外部委員	土田 友章	早稲田大学 人間科学部 教授
	外部委員	坂井 克彦	株式会社中日ドラゴンズ 代表取締役社長
	外部委員	杉島 由美子	中京大学 法学部 教授
	企業委員	柳沼 仲次	富士フイルム株式会社 医薬品事業部
	企業委員	大須賀 俊裕	J-TEC 専務取締役
	企業委員	畠 賢一郎	J-TEC 常務取締役

2. 欠席者（敬称略）

委員	外部委員	岩本 美砂子	三重大学 人文学部 教授
----	------	--------	--------------

3. 議事内容

【議題】

『平成 23～24 年度厚生労働科学研究費補助金政策創薬総合研究事業』採択研究計画についての再審議

【概要】

7 月 9 日開催の第 13 回 J-TEC 倫理委員会での審議の結果、『平成 23～24 年度厚生労働科学研究費補助金政策創薬総合研究事業』採択研究計画については継続審議となり、組織入手先及び他の研究機関の倫理委員会への追加調査結果をもって持回り審議を実施することとなった。

追加調査結果のまとめ、組織入手先の同意説明文書及びパンフレット、ならびに社内倫理委員の見解のまとめを審議資料として参照し、当該研究計画の倫理的妥当性について評価した。

【審議結果】

承認 9 名、条件付承認 0 名、否認 0 名であった。本研究計画を実施する倫理的妥当性が確認され、本件は承認された。

【意見等】

- ・倫理面では国立の研究機関が行う研究の一部を分担すると解釈でき、問題ないと判断できる。
- ・日本人の定義が各医療機関の判断となるため不確かさが残り、研究担当者に諸注意を促す必要がある。

- ・組織入手先での匿名化の経過及びその点検、他の研究機関の倫理委員会の構成・運営・点検を信頼するほかない。

以上

2011年10月20日

文責：J-TEC 倫理委員会 事務局